
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより 第194号（通巻第261号）

2021年4月30日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325、FAX 055-220-8790
Email: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラム等に関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ センター長就任の御挨拶

附属教育実践総合センター長 長谷川 千秋

4月より附属教育実践総合センター長を拝命いたしました長谷川千秋です。慣れない業務にあたふたしている間に、4月も気づけばもう残すところあと数日、ゴールデンウィークが間近に迫ってきました。みなさまも学期始めを慌ただしくお過ごしのことと思います。

業務に追われたこの一月、桜や桃は緑を芽吹き、ハナミヅキさえも花の季節を過ぎ、今は躑躅（つつじ）や藤の花など、まだ4月というのに初夏の花が目に見え鮮やかです。例年よりも季節の経過が早く感じるのは、そう感じる者の主観だけではないでしょう。あたかも社会情勢の変化の早さに、季節が足並みを揃えているかのようです。

さて、実践センターは設置後30年余りの歴史があり、これまで多くの先生方が教員養成や教育に関する研究・社会貢献に携わってこられました。現在は、教育学部、附属学校園、山梨県教育委員会、県内の教育関係機関と連携しながら、センターの4つの部門に属する先生方が、教員養成・採用・研修に関する様々な事業運営とともに、それぞれ調査・研究を行い、山梨県内をはじめとする学校現場の今日的な課題に対応すべく役割を担っています。

こうした業務に向き合ってみて気づいたことは、山梨大学の実践センターは学内外の多くの先生方に支えられて今に至っているということです。現在は、臨床心理学、ICT・情報教育を専門とする専任教員、教職支援に関わる学部の兼任教員、山梨県の教育を牽引してきた多彩な実務家教員、特任教授、客員教授と、多様な専門的立場から今日的な課題に対応できる配置となっています。これは何にも代えがたい財産といえるでしょう。

この恵まれた環境を活かすために、実践センターに属する私たちは、何のために、何をめざして様々な事業を行おうとするのか、その部分を時には議論をしながらしっかりと共有し、よりよい方向に事業を進めていきたいと考えています。その際には、展開しようとする事業活動の向かう先の人、その人たちのニーズにあわせた支援であるように、問い直しを続けることも必要でしょう。

初夏を思わせる強い日差しは、躑躅の花びらを透き通って花びらを輝かせています。季節ごとの花はその季節に合わせた花を付けているように思います。季節が花を美しくするのか、花が季節に合わせた美しさをまとうのか、感覚的な見方が許されるなら、そのどちらでもあるように思います。実践センターも、今年も時宜に合わせた美しい花を咲かせることができるよう、尽力してまいりたいと思います。

これからどうぞよろしくお願いたします。

■ 着任の御挨拶

教育実践研究部門（兼 教職大学院 教授） 古屋 啓一

今年度より、学校現場からこちらにお世話になっております古屋啓一と申します。実務家教員として、現場での経験を生かし、附属教育実践総合センターでの役割を果たせるよう、努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

教職支援部門（兼 教職支援室 客員教授） 芦澤 秀幸

4月より教職支援室にお世話になっております芦澤秀幸と申します。令和2年度末に南アルプス市立白根巨摩中学校を定年退職いたしました。微力ではありますが、これまでの学校現場や行政等での経験を生かしながら、学生の皆さんの支援にあたりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授） 井上 耕史

4月よりお世話になっております井上耕史と申します。令和2年度末をもって県教育委員会事務局勤務を最後に定年退職しました。これまでの学校や行政での経験を活かし、少しでも大学のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授） 嶋崎 修

4月から、当センターの客員教授としてお世話になることになりました。教員として36年の在職中、指導主事等を含め、県教育委員会に通算15年、附属小学校に10年間という、やや偏った経歴ではありますが、当センターの担う任務に少しでも貢献できるよう、努力していきたく思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授） 清水 徳生

本年度よりお世話になります清水徳生と申します。この3月まで、北杜市立高根東小学校に勤務しておりました。私は小学校勤務が主でしたが、中学校での保健・体育科の指導経験もあります。大学および教職大学院での勤務は初めてですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

(順不同)

■ センター事業（～5月）

○ 「令和3年度 期間採用者等研修」の御紹介 — 山梨県教育委員会・山梨大学 連携事業 —

1 趣旨

研修の機会が充分でない期間採用教職員等や教育に関する実践力を高めたい教員志望学生・院生に対して、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等の基礎的な研修を行う。

2 日時

令和3年5月22日（土） 8:30～12:30

3 会場

ZOOMミーティングによるオンライン開催

※ 詳細は、次ページの案内をご覧ください。ご参加（5月18日申込期限）をお待ちしています。



令和3年度

期間採用者等研修

山梨県教育委員会・山梨大学 連携事業

日時

2021年5月22日(土)

8:30~12:30

月
日
曜日

ZOOMミーティングによる
オンライン開催

自宅や職場のパソコン等から参加

研修1 (全体研修)

「多様な学びの場における特別な支援が必要な児童・生徒への指導等」

全校種 荒川 昌浩 先生 わかば支援学校 校長

※ 「多様な学びの場」：通常の学級 通級による指導 特別支援学級 特別支援学校

研修2 (校種別・教科等指導法研修) 「児童・生徒をひきつける授業の工夫」

小学校 小林 知子 先生 田富南小学校 教頭

中学校 三澤 明生 先生 鰐沢中学校 校長

高等学校 内藤 京 先生 甲府南高等学校 教頭

研修3 (校種別・学級経営研修) 「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」

小学校 山本 撰 先生 貢川小学校 教頭

中学校 雨宮 綾 先生 後屋敷小学校 教諭

高等学校 小林 太郎 先生 日川高等学校 教頭

【対象者】 研修の機会が充分でない期間採用等の先生方※や教育に関する実践力を高めたい教員志望の学生・院生を対象にしています。教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等を内容としています。

※ 期間採用教職員・代替教職員など臨時的任用教職員、任期付教職員、育児のための任期付短時間勤務職員、非常勤講師などの会計年度任用職員、市町村任用教職員等の先生方

【参加費】 無料

【申込み】 右のQRコードからお申込みください。【申込期限5月18日(火)】
詳細を記した実施要項も確認できます。



【お問合せ】 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター TEL 055-220-8325

○ 『ACTION PLAN』配付の御報告 — 山梨大学教師塾プロジェクト 2021～2022 —

- 1 配付
新入生ウェルカムガイダンスにて（令和3年4月17日（土））
- 2 対象
令和3年度入学生全員 ※2年生・3年生にも入学時に配付をしています。
- 3 内容
教職に対するガイダンス・ボランティア活動等の配付資料を閉じ込めるファイルで、4年間の教職に関わる学びを俯瞰できるチャート図が閉じこまれています。



○ 「模擬授業室」開設の御報告 — 山梨大学教師塾プロジェクト 2021～2022 —

- 1 場所
N-31 教室
M-304 教室
- 2 趣旨
模擬授業や教材研究の場として、教師力向上のため学生や院生による主体的な活用を期待しています。



これまでのセンターだよりの一部は、<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/> で見ることができます。